

平成26年度 魚沼市社会科部 活動報告

部長 江口 克也

1 研究主題

「思考・判断・表現」の力を高める指導と評価
～ 言語活動を取り入れた社会科学習指導のあり方～

2 活動の概要

(1) 総会・第1回小学校社会科部会

- ①期日 平成26年4月16日
- ②会場 小出郷文化会館
- ③内容 今年度の活動計画検討

(2) 第2回小学校社会科部会

- ①期日 平成26年8月8日
- ②会場 須原小学校・国指定重要文化財目黒邸
- ③内容 授業実践レポート発表
地域巡見

(3) 第3回小学校社会科部会

- ①期日 平成26年11月15日
- ②会場 須原小学校
- ③内容 公開授業・協議会
6年 「満州で暮らす人々の生活」
授業者：守門中学校
猪又 力 教頭先生



3 活動の実際

(1) 授業実践レポート発表会

研究主題に沿った授業実践レポートを持ち寄り、協議を行った。担当学年の児童の発達段階に合わせた言語活動の取り入れ方、評価規準の設定の仕方など、授業にかける思い、悩み等の情報交換を行い、有意義な部会となった。

(2) 公開授業研修



小学校の子どもたちに中学校社会科教員による専門的な授業をお願いしたいという依頼を守門中学校の猪又教頭先生から快くお引き受けいただいたの公開授業となった。しかも、飛び込み授業でありながら、担任の学習計画に沿った1単位時間を担当していただいた。

戦争と子どもたちの距離を縮めたいという授業者の願いの下、今話題のアクティブラーニングを中心に据えた授業であった。

写真などから当時の子どもたちの生活の様子に思いを寄せ、当

事者意識を高めた上で、満洲国に暮らす様々な人の心情をグループで考え、まとめていった。

協議会では、小中の教員が率直な意見を交換し、以下の点が確認された。

○授業にストーリーをもたせることにより、子どもたちは考えやすくなる。

○指導内容が多く伝達型の授業になりがちであるが、ポイントを絞りじっくり考えさせることが子どもの主体性を育み、思考力・判断力・表現力を高めることへとつながっていく。

4 成果と課題

公開授業を通して、小中の教員が交流できたことが最大の成果である。日頃、授業を進める上での思い、悩み等を出し合う中で今後のエネルギーを得ることができた。

課題としてあげられるのは、単元における言語活動の位置づけである。子どもたちの学びを深めるために不可欠な言語活動であるが、時間的な制約もあり、十分に行うことができていないという現状がある。教材研究を深め、内容を精選することにより時間を確保していく必要を感じる。